

# 高校側の意向把握へ

大学入試

5/30 後文

文科省 出題範囲など検討

来年春の入学者を选拔する大学入試について、萩生田文科科学相は29日、日程の繰り下げや出題範囲の限定などの見直しを検討する考えを示した。新型コロナウィルスによる長期休校の影響を考慮し、全国の高校長の意向を確認する。6月に示す入試の実施要項の中で具体的な日程を示す。文科省の依頼で全国高校

長協会がアンケートを行い、入試日程について「現在のままでもいいか」「どの程度遅らせるか」、出題について「生徒が履修した範囲に依じて、問題を選べるようにすべきか」「出題範囲を限定すべきか」などを尋ねる。休校が長引く東京都の公立高校長は「最低でも1か月は遅らせてほしい」としており、日程繰り

下げを求める意見も多く集まりそうだ。

文科省はアンケート結果を基に、大学側と協議する。萩生田文科相は同日の閣議後記者会見で、「受験生が抱える不安を解消することは、文科省の最重要課題の一つだ」と述べた。

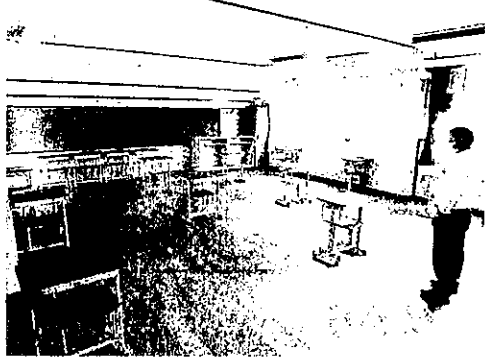
現状の予定では9月から総合型選抜(旧AO入試)の出願が始まる。感染拡大を受けて高校生のスポーツ大会や文化活動が相次いで中止となる中、どのような入試選抜が行われるのか不透明な状況になっている。

# 教育関心 地方で高く

## ツイート分析 9月入学 学生否定的

新型コロナウイルスの感染拡大による政府の一斉休校の要請から3か月。ツイッターのビッグデータ解析からは、都市と地方の教育への関心度合いの違い、9月入学への賛否の傾向も浮かび上がった。

△本文記事1面▽  
読売新聞はN.T.Tデータとともに、約3か月間にわたる数千万件のツイッターの投稿を分析。調査の一つとして、全世代の投稿を対象に、新型コロナウイルスに関連して「教育」のツイートをしただ割合を都道府県別に比べ



新型コロナウイルスの感染拡大による政府の一斉休校の要請から3か月。ツイッターのビッグデータ解析からは、都市と地方の教育への関心度合いの違い、9月入学への賛否の傾向も浮かび上がった。

その結果、教育に関するものは、①三重の鹿兒島②徳島

生徒の机は前後左右で2分以上の間隔を確保し、授業再開の準備を進める(5月25日、東京都足立区の中学校で)

▽ツイッターでの教育に関する投稿の割合(都道府県別)

順位	自治体	割合
1	三重	24%
2	鹿兒島	22%
3	徳島	21%
4	新潟	21%
5	宮城	20%
6	長崎	18%
7	佐賀	17%
8	岩手	16%
9	岐阜	16%
10	岡山	16%

順位	自治体	割合
38	大阪	9%
39	山梨	9%
40	福岡	9%
41	高知	9%
42	和歌山	8%
43	東京	8%
44	石川	8%
45	神奈川	8%
46	京都	7%
47	沖縄	6%

※N.T.Tデータの調査に基づく

④新潟⑤宮崎——で、地方が上位を占めた。低かったのは、⑦沖組⑧京都⑨神奈川⑩石川⑪東京——と、都市部が多いという傾向が見られた。

都市部は東京や大阪を中心に感染者も多く、感染拡大の防止策を重点的に行う必要がある特定警戒都道府県だった。先に学校が再開した地方に比べ、都市部では教育に関しては動きが少なかったことも影響したとみられる。

また、生徒や学生の投稿のみを抽出し、政府が検討を進めてきた「9月入学」についても調査。4月末には肯定的だったが、すぐに否定的な意見が増加したことも明らかになった。生徒や学生の間には、教育団体などが慎重な議論を求めるよりも早く、9月入学に否定的な考えが広がっていった実態も明らかになった。

若者の意識調査を定期的に行う日本財団の橋本朋幸さんは「ソーシャルメディアの意見は一時的な感情が多くを占めてしまうことがある。だが、ビッグデータを全体を分析すると、生徒

## 「経済」が関心トップ

読売新聞とN.T.Tデータのツイート分析では、「コロナ」や「緊急事態宣言」などのキーワードとともに、全世代で投稿された内容についても分析した。その結果、テーマは医療や日用品、経済、家計など16項目に分類することができた。

その中で、関心のトップは「経済」で全ツイートの18.9%に上り、次いで「教育」(13.5%)、「医療制度」(13.2%)、「家計」(9.3%)、「メンタルヘルス」(7.7%)、「旅行」(6.2%)、「日用品供給」(6.0%)、「テレワーク」(5.9%)だった。

「経済」では、休業要請や給付金、経営破綻など深刻な内容が目立ち、「教育」では休校のほか卒業式や入学式の中止、オンライン授業に関する内容が多かった。「医療制度」では、病床数や医療従事者、保険などに関連する内容が多く見られた。

経済	18.9%
教育	13.5
医療制度	13.2
家計	9.3
メンタルヘルス	7.7
旅行	6.2
日用品供給	6.0
テレワーク	5.9

※N.T.Tデータの調査に基づく

▽新型コロナウイルスに関する関心テーマ上位8項目

# 学生 揺れた3か月

新型コロナウイルスの感染拡大による緊急事態宣言が解除され、1日から学校再開が本格化するのを前に、読売新聞はNTTデータ（東京）とともに、生徒や学生と推定される約50万件の3か月間の投稿について感情の変化を分析した。当初は「うれしい」だったが「不安」に変わり、現在は「楽しみ」が増えていることがわかった。一斉休校以降、学生が翻弄されてきた実態が、ビッグデータから浮かび上がった。〈関連記事26面〉

## 本社とNTTデータ ツイート分析

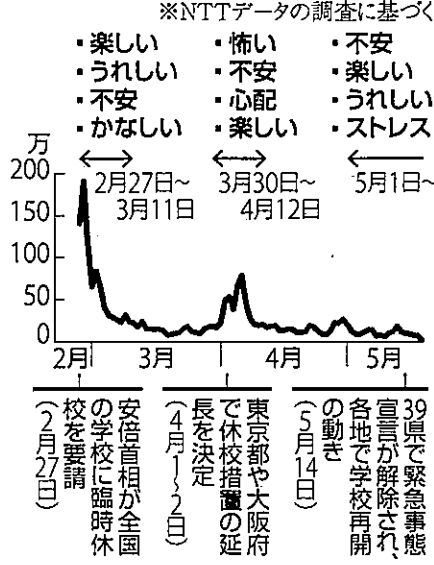
新型コロナウイルス関連でツイッターに投稿された数千万件の投稿を、NTTデータの情報解析サービス「なずきのおと」で個人情報に配慮して調査。このうち、生徒や学生（13〜22歳）と推定されるユーザーが投稿した約50万件について、2月末から5月につぶやかれた単語や文面全体を基に、感情や心の揺れを解析した。

その結果、2月末から3月上旬までは、「楽しい」「うれしい」「不安」が上位を占めた。中高一貫の私立高校では、生徒らが学校に対して休校を決めるよう促す投稿が数多くあり、当時、休校をイベントとしてとらえていた様子もみられた。だが、3月下旬以降、感染者が増え、学校再開への不安感から「怖い」「不安」

「心配」といった投稿が増加。再開については「怖くしょうがない」などの書き込みのほか、生徒会が他校の生徒会にもマスク作りを呼びかける動きなども見られた。

5月に入ると、1日あたりの新規感染者数も減り、学校再開の見通しが出てきたが、「不安」が依然として上位で、「楽しい」「うれしい」が続いた。学校で感染してしまわないか不安を吐露する書き込みや学習の遅れへの不安のほか、すぐれ込んだ新学期の開始を前に、「友達に会える日が楽しみ」などの書き込みが目立った。

休校に関連した投稿数の推移と生徒・学生の心情の変化



39県で緊急事態宣言が解除され、各地で学校再開の動き (5月14日)  
 東京都や大阪府で休校措置の延長を決定 (4月1~2日)  
 安倍首相が全国の学校に臨時休校を要請 (2月27日)

新型コロナウイルス禍による休校が続いていた5月上旬、勤務する公立小学校でも教員が双方向でやりとりできる「教育クラウドサービス」が導入された。

受け持っているクラスの6年生たちの健康を確認したり、その日の課題を配信したりした。時には質問が届くので答える。やりとりが双方向になると、学習面でもメンタル面でもより細やかな支援ができる。不登校気

## 学びや発

## 遠隔学習

味の児童には個別にメッセージを送り、関係をつくりつつ日々の小さな不安を受け止めた。

一方、B子は「パソコンの勉強アプリは答えを

### 教員のかかわり方が大切

A男とB子が学校に宿題を取りに来た。A男は授業動画を見て問題を解く塾の課題が毎日あり、一

日中パソコンの前にいるのだという。「授業は理

解できるけど一人でやる

から楽しくないし、こなし思考が不要なアプリですのに精いっぱいでもの勉強になじんでしまっ

う疲れました」と言う。ているB子。もともと2

一方、B子は「パソコン人とも学力は高く、学

がいらぬし、たくさん書かなくていいから楽！

学校に行けない子どもたちの学ぶ権利を実現す

るという意味で、教育のICT(情報通信技術)化には大いに賛成だ。字

などを持つ子どもにとってもメリットは大きい。半面、やり方によって

は主体性や学習の楽しさ、書く力や思考力を奪

いかねない。当たり前のことだが、ICTの導入

だけでは不十分なのだ。大切なのは私たち教員

の関わり方だろう。オンライン上でどのように関われば、子どもたちのオ

フラインでの学習や、人としての成長をサポートできるか。いま一度考え

(羽)

佐賀大の特色加点制度



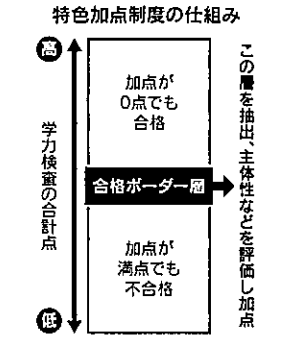
西郡 大 佐賀大 学ミッションセンター長

佐賀大学は2021年度入試から、一般入試で受験生の主体性などを評価する「特色加点制度」を医学部を除く全学部に拡大する。全国の大学でも珍しいこの試みについて、同大学アドミッションセンター長の西郡大教授に寄稿してもらった。

当り前のことをだが入試試験において合格と不合格の差は大きい。合格力などに加え、主体性を示す「特色加点」を持つ受験生は、多くの受験者が分布する。一般的に学力検査では「一点刻みの合格判定を行い、わずかな差で明暗が分かれるが、この差が学力の明確な違いを表しているわけではない。

以上のような選抜意識を醸成し、佐賀大学は「特色加点制度」の仕組みを抽出し、主体性などを評価し、加点する。この仕組みは、学力検査の合計点と「合格ボーダー」を境として、加点が0点でも合格、加点が満点でも合格と判定される。

一般入試で主体性評価



の数年間、先進的に入試 記入する取り組みは、改革を進めてきた。その 研究室、部活動、生徒会、一つで、一般入試に主体性などの評価を加味する よく、受けとる資料試みである。「特色加点制 もなるべく提出してもらい、申請はウェブ上で行う。申請はウェブ上で行い、採点作業も電子化し、同制度は受験生が高校 での力を入れた取り組みを、評価は「〇判定△合格」中心に、そこで培った又、評価は「〇判定△合格」キルや経験が入学後に〇点」という採点ではないように生かせるかを記し、段階評価でアドミッ入、申請してもらい書類 ショボリン(AE)上で審査。センター試験 示す観点から定性的、総合的に評価する。試験の合計点に加点する。・関心および主体的に学習に取り組むこととする意欲と態度」・「自ら学びを深めても減点はない。加点し ようとする行動や姿勢をた結果を合否判定に使う。のは合格ライン付近のポーター層に限る。任意提 能性」の2つだ。出たは、い、申請者全員、19年度入試から理工学部の採点は日程に難しい、部と農学部で特色加点を先行実施した。前者は最

合格ボーダー層対象 ■ 望ましい学生を獲得

大で30点、後者は50点を加点する。センター、個別試験の合計点は満点で750~1500点なので、特色加点のウェイトは大きい。19、20年度入試の結果を見ると、特色加点を申請した受験生の割合は19年度が6割弱と想定より少なかったものの、20年度は約7割に増えた。両年度も特色加点の結果、合格が入れ替わったのは各学部数人で、逆転不合格となった者の多くは未申請者だった。申請者と未申請者の特徴を分析すると、GPA(単位当たりの成績水準)などで見た学業成績は申請者の方が高い。学習意欲や志向との擦り合わせを受験生が自ら行うことが、自己責任でやり取りも甲でできる。受験生が理解できなかった19年度に逆転合格した学生は全員、Pの精緻化を進めた。入試で意欲や態度を評価する場合、明確な評価の観点や基準を示さず、A Pが示す学生を更に公平だと考えられている。だが、観点や基準を厳格にすれば、その厳格さを踏まえて、必ず公平性の問題が生じる。本質的な高大受験生の経験の画一化を招きかねない。入試改革

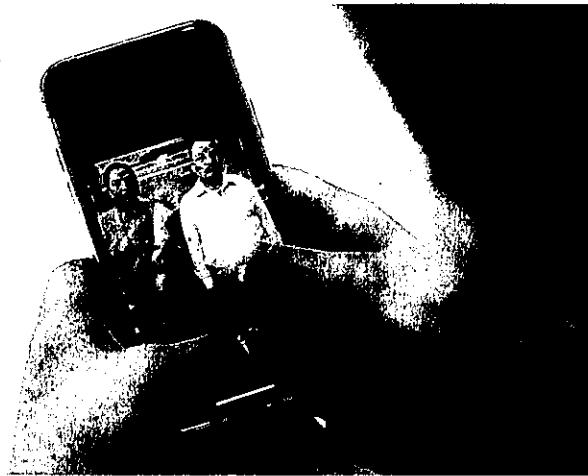
が高校教育をゆがめる過度な動機付けとなることを避けるべきだ。高校の特色ある取り組みや活動を通過して、多様な学習活動や経験を身につけてほしい。生徒が育つことが望ましい。入試でも、受験生の多様な経験の中から意欲や態度を見いだすのが理想だ。特色加点制度もそれを意識しているが、まだまだ十分ではない。それでは、高校における多様な教育改革を後押しする高大接続とほいかなるものだろうか。私見では、学生が多様性を生かせる大学教育への転換を促すことが重要だ。多くの大学が「多様な学生を獲得したい」としている感がある。大学が多様な多様性を生かせる教育環境や教育プログラムを積極的に構築し、それを踏まえて入学者に求める資質・能力や経験を明確にA Pで示す。そして、A Pが示す学生を更に公平だと考えられている。だが、観点や基準を厳格にすれば、その厳格さを踏まえて、必ず公平性の問題が生じる。本質的な高大受験生の経験の画一化を招きかねない。入試改革

一点刻みで合否 弊害是正の試み

特色加点制度は今の入試の枠組みの中で「一点刻み」の弊害を是正する試みだ。加点対象となる活動の幅は広く、一般の高校生が無理なく利用できるものも工夫されている。アドミッションポリシーの理解を高め、入学後のシスマッチを防ぐ、手立てとしても興味深い。ただ、判定の対象はボーダー層に限られる。現行の多面的で丁寧な評価の対象は絞らざるを得ない。打明けは根本的な入試制度改革が必要だ。(中)

# 教育

学ぶ 磨く 育つ



## まっしぐら

■自動車整備⑥

「ネパールにも新型コロナウイルスの影響が出ている」。アデイカリ・サントスさん（24）が不安げに話す。母国にいる家族のことが最も気がかりだ。「2、3年に1度の帰省も今年はできそうにない」と肩を落とす。

母親からスマートフォンに送られてくるメッセージや家族の写真が、今は何よりの励みになっている。「会えなくても、写真で姿を見ると安心する」。笑みがこぼれた。

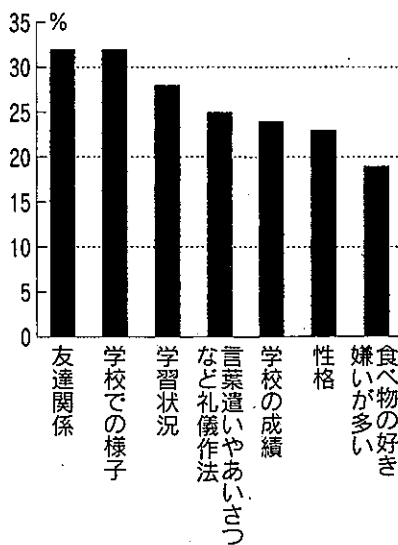
（東京都江戸川区の鈴木自工）

## 親の心配「友達」と「学校生活」

6/1 日経

### データ

小学生の親  
気がかりは友達と学校生活



小学校低学年の子どもを持つ親が最も気がかりなのは、子どもとの友達関係と学校での様子で

あることが公文教育研究会の調べで分かった。同会が2、3月、小学1～3年生の子どもを持つ母親1000人、父親800人に行った調査で明らかになった。子どもについて気にかかっていること（複数回答）は「友達関係」と「学校での様子」が32%で最多。「学習状況」(28%)、「言葉遣いやあいさつなど礼儀作法」(26%)と続いた。同会は同じ調査を2017、18年度にも行っており、「友達関係」「学校での様子」は3年度連続で上位2項目となった。勉強よりも、子どもの人間関係や学校生活に関心が高かった。

# 9月入学 来年度見送り

1/2 総合

## 政府・与党 慎重論に配慮

政府・与党は1日、新型コロナウイルスの感染拡大による休校長期化を受けて検討していた「9月入学」について、来年度の導入を見送る方針を固めた。待機児童の増加や義務教育開始の遅れなど、制度移行に伴う混乱を懸念する慎重論に配慮した。自民、公明両党は早期導入見送りを求める提言をそれぞれまとめている。

安倍首相は1日、首相官邸で公明党の石田政調会長らと会談し、9月入学について、「選択肢の一つだが、拙速に行うことばない」と述べ、早期の制度導入を見送る意向を示した。「学びに格差が生じないように全

力を尽くす。9月入学は別に考えた方がいい」とも語り、学習遅れへの対策を急ぐ考えを強調した。首相は来年度からの導入見送りを求める公明党の提言を受け取った。

政府は休校長期化を受け、9月入学制度の導入で学習時間を確保する案を検討。関係府省の次官ら幹部を集めた検討チームで論点を整理を進め、来年度に17か月分の児童を一斉入学させる案や、毎年13か月分の児童が時期をずらしながら入学し、5年かけて移行させる案などが浮上している。

9月入学を巡っては、小池百合子・東京都知事ら複

数の知事から制度導入に積極的な声上がる一方、移行期の家庭の経済負担や保育施設の確保、学校側の財

政負担などが課題として指摘されていた。これに関連し、自民党のワーキングチームも1日、政府への提言案をまとめ

た。「今年度・来年度のような直近の導入は困難だ」として、制度導入の先送りを求め、2日に首相に提出する予定だ。

# 学ぶ育む

## コロナから守る

学校現場から

東京都三鷹市立  
南浦小学校

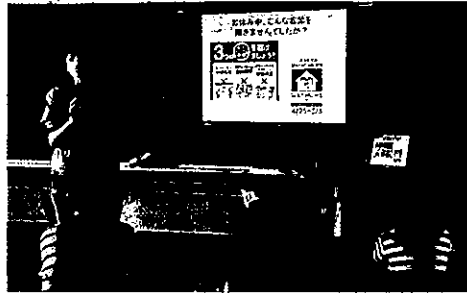
6月1日から新学年の正規の授業が始まった。

「3密」(密閉、密集、密接)を避けるため、各クラスを午前、午後の2グループに分け、3週間は分散登校を続ける。

各児童の登校日は週3日から徐々に増やしていき、22日から通常の学校生活に戻す予定だ。

1日午前に登校した1〜3年生約210人は体育や特別活動の時間に、手洗いやマスクの着用、教室の換気など感染予防策について指導を受けた。

### 正規授業 感染予防指導も



体育の授業では、新型コロナウイルスの感染予防指導が行われた(1日)

「学校にいる時間が長くなれば、子供たちは徐々に学校中心の生活リズムを取り戻すだろう」と藤原和彦校長(56)。感染リスクが高まらないように予防策を徹底していくという。

「学校にいる時間が長くなれば、子供たちは徐々に学校中心の生活リズムを取り戻すだろう」と藤原和彦校長(56)。

### 笑顔の再会 各教室10人

足立区立  
江南中学校

学年ごとの分散登校で学校は再開した。

1日、小雨が降る中、マスクを着けて登校したのは3年生約30人。友人や教員との再会に笑顔が広がった。

「子供も教員も、非常に生き生きしている」。大谷雅也副校長(58)の声が弾んだ。

感染防止のため、校舎の多くの窓は開けられ、教室の近くには消毒液が置かれた。自宅で検

ば、子供たちは徐々に学校中心の生活リズムを取り戻すだろう」と藤原和彦校長(56)。感染リスクが高まらないように予防策を徹底していくという。

(渡辺光彦)

温をしなかった生徒には、教員が非接触タイプの体温計で熱がないか確認していた。

初日の授業は午前中の3コマ(1コマ50分)で、三つの教室に約10人ずつ分かれて受けた。

「学校が始まりましたが、『前の状態に戻った』ということではありません」

授業の冒頭、担任教員が「3密」を避けて行動するように注意喚起した。

この日は、新学年になった決意を作文に書く授業などもあったという。

「3か月に及んだ休校期間中



教室内の生徒は約10人。机の間隔をとり、密集を防ぐ

の学習の遅れを取り戻すために、夏頃までは学校行事を入れずに授業を進めたい」と水谷正博校長(57)は話す。

分散登校で各生徒の登校日は週2日程度だが、4日から授業は1日6コマとなり、教科の学習が本格的に始まった。

(鯨井政紀)

東京都内の小中2校を記者が訪ね、随時リポートします。



学校資料の例

紙の資料	写真、卒業アルバム、給食日誌、教科書、副読本、学校日誌、学校沿革史、学校舎図面、学籍簿、学区児童関係する書類や地図、児童の作文・絵画
紙以外の資料	教材、教具、生物標本、模型、備品、民具、土器・石器、美術工芸品

大平教授は2009年に降、太平洋戦争中の学徒動員などを調べるため、県内19市町の小学校を巡り、明治期からの学校日誌や職員出勤簿など約150校分の資料を探し出していた。

宮城学院女子大(仙台市)で日本史を教えている大平聡教授(65)は、宮城県内のある小学校で資料室に保管されていた大量の学校日誌などがなくなっていることに気づき、言葉も失った。職員が「資料には個人情報がある」との理由で廃棄してしまったという。2年前のことだ。

明治初期以降に設立された小学校で保管されてきた資料が学校統廃合などで散逸・廃棄されるケースが後を絶たない。地域住民の資財と努力によって設立・維持されてきた学校には、当時の生活文化をうかがえる貴重な文書も数多い。研究者らは授業や研究で活用しながら価値を伝えていく重要性を訴える。(溝口徹)

# 散逸・廃棄進む学校資料

6/8

## 地域史伝える日誌や写真… 保存意識低く

校長に「市内唯一の貴重な資料」だと念を押したのに、校長の異動後、廃棄されたこともある。大平教授は「何のためらいもなくシュレッダーにかけている。公務を果たすという自負心からなので対処が難しい」と嘆いた。

### 学校統廃合で加速

資料の散逸・廃棄は急速に進んでいる。学校日誌などは学校教育法施行規則で5年間の保存期間が設けられているが、期限を過ぎた資料の歴史的価値を見極める仕組みを整えている自治体は少ない。

廃棄、保存は学校現場の校長が判断することになるが、多忙な中で価値の吟味は難しい。仮に資料が残っても、異動が繰り返される中で引き継がれるとは限らない。さらに廃棄を加速させたのは、少子化や過疎化で急速に進む学校統廃合だ。

京都府京丹後市は、6町の合併で市が発足した04年には小学校が31校あったが、現在は17校に減った。

市教委文化財保護課に勤めていた市職員の小山元孝さん(47)の話では、学校の資料が統廃合後に引き継がれていないことが何度もあった。文書整理の時期には、職員向けのサイトで「古いものがあつたら声かけを」と呼びかけ、校長に直接メールで照会したこともあったが、学校からの問い合わせはほとんどなかったという。

小山さんは、過疎化で住民がいなくなった市内の集落跡をいくつも見てきた。それと重ね合わせ、「放置されると、残された資料の由来が不明確になり、地域の歴史が消滅する危険性もはらむ。資料を地域の大切な共有財産として残す必要がある」と訴える。

### 授業に活用で歯止め

廃棄に歯止めをかける対策として研究者らが強調するのは、資料館や公文書館と学校

が連携する。大平教授は大学で、各地の小学校に保管された学校日誌や給食日誌などをもちに、昭和初期から太平洋戦争までの歴史をたどる授業を行っている。

昭和初期は、世界恐慌と生糸価格や米価の下落、冷害による凶作、三陸地震の津波被害などが重なった。そうした時代を反映し、学校日誌などには、学校で行われた地震の義援金配布説明会や、副業の養蚕を手伝うための農繁休業、出征兵士の見送り、遺骨の出迎えなどの様子が記録されている。「戦争が学校に入り込んでくる様子や日常生活を見る上で、非常に参考になる」(大平教授)という。

現在は、1918、19年に東北地方にも広がったスペイン風邪について学校日誌などに残された記述を集めており、診察にあたった校医が亡くなったたり、ワクチン接種が行われたりした事例を今のコロナ禍と対比させて教材化する予定だ。

学校資料の保存を呼びかけている浜松学院大短期大学の和崎光太郎准教授(44)(教育史)は「教職員らの意識が変わらないと状況は変わらない。資料の教材化や博物館資料館での展示などで活用の仕方を知りやすく示していくことが大切だ」と指摘する。



●カビに覆われた資料を倉庫から撤出する学生ら(宮城県気仙沼市立気仙沼小で) ●明治時代の資料を保存するための作業が行われている(宮城県大和町立吉岡小で) =いずれも大平聡教授提供

# 学校での感染集約・共有

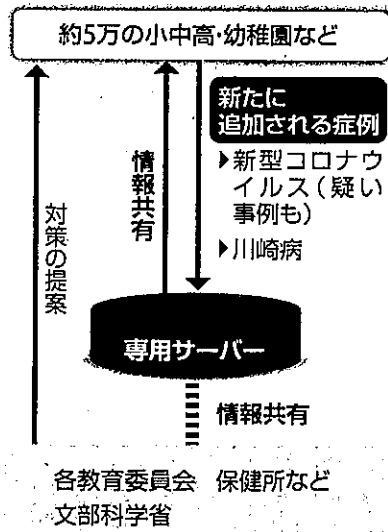
## 文科省 コロナ監視強化

後見

新型コロナウイルス感染症の再流行に備えるため、文部科学省は月内にも、児童生徒の感染や疑い症例を集約し、学校間で共有する仕組みを稼働させる。全国のすべてにあたる約5万の小中高校、幼稚園などから報告を求める。現在は自治体ごとにとりまとめている感染者情報について、学校ごとに「疑い」の段階で早期に把握することで、学校現場での実効性のある感染対策が可能になる。

新型コロナウイルス感染では、感染した子供が全身症や疑い事例のほか、欧米の血管に炎症を起す川崎

学校現場での感染状況を共有する仕組み



病に似た症状を示すケースが確認されており、こうした症例の報告も求める。

報告された症例については、地域の感染状況や感染者の学年といった情報でまとめられ、文科省や教育委員会などが共有する。

そのうえで、各学校が分散登校や授業の工夫といった感染対策の実施、再休校の判断の際に役立てる。

北九州市では5月、同じ

については慎重に検討をしている。

今回の情報共有は、公益財団法人「日本学校保健会」が運営している「学校等欠席者・感染症情報システム」を更新し、運用することを想定している。

これまでも、学校に対しては、このシステムを使ってインフルエンザや風疹などの感染症についての報告を求めてきた。だが、得られる情報が少ないため、小中学校の利用率は5割程度と低かった。文科省などは数百万円をかけてシステムを更新し、サーバーを増強し、情報共有化の仕組みを構築する。

文科省は「当分の間、再流行のリスクは付いて回る。学校でも警戒を継続する必要がある」としている。

必要性は高く、各学校や教委が各種対策を取るために役立つ仕組みとしたい」としている。

# 「9月入学」が問いかけたもの

新型コロナウイルスによる休校の長期化で政策課題に浮上していた「9月入学」について、政府は導入を当面見送る方針を決めた。主な目的は、学習時間を確保することだった。小中高校の児童・生徒の入学、始業の時期を5カ月延ばすことを軸に検討した。

9月入学を一斉実施した場合、教員が数万人単位で不足し、段階的に移行する案では保育所や学童保育の待機児童が増えるなど負の影響があることが分かった。義務教育の開始年齢が諸外国に比べ遅れることへの懸念もあり、与党のワーキングチームは、「国

民的合意に一定の期間を要する」と結論づけた。コロナ対策に注力すべき時期に30以上の関連法の改正が必要なことも考慮すれば、見送りの判断は妥当だろう。

の調査では、学生が留学をためらう理由は「外国語力の不足」「経済的事情」が突出して多かった。一方、アジア諸国の学生は、グローバルに活躍するため英語圏の大学への留学志向が強い。世界から優れた学生や研究者を吸引するには、英語での授業を増やすという従来の目標にとどまらず、踏み込んだ戦略も必要だ。少子高齢化、労働力不足、防災など課題先進国ニッポンとしての強みを生かす教育・研究を拡充すべきだ。

今後、中長期的な課題として9月入学のコストや便益に関する議論をさらに深める必要がある。

日本の教育改革に欠けていたのは科学的根拠に基づく検証だ。9月入学をめぐることは、待機児童数や必要な財源など国民の様々なデータが参照された。今後の制度設計の議論にも生かしたい。

利点のひとつとされるのは高等教育の国際化だ。高校以下の入学時期を変更しなくても、秋入学は個別大学の判断で表現可能だ。

ただ、大学の入学時期を変えただけで留学生や研究者の相互受け入れが進むわけではない。東北大

# 学生に最大20万円給付

## 申請は学校経由で

新型コロナウイルスによる影響で経済的に困窮する学生への支援が始まる

# コロナ予算 ポイント解説

③

申請書	親の追加支援が期待できない事情などを記載
誓約書	親からの仕送りやアルバイト収入の額も記載
給与明細や通帳の写し	アルバイト収入が前月比5割以上減を証明
賃貸契約書や住民票の写し	下宿しての通学を証明
既存の奨学金利用の認定書	提出可能な場合
家庭の公的支援の受給証明書	家庭の困窮状況を証明。提出可能な場合

申請は通っている学校に提出する。書類は郵送を求め、書類が多いが、全体の2割弱にあたる900校弱は学生が使い慣れた「LINE」での申請も認めた。スマートフォンで撮影した必要書類の写真を添付する。新型コロナウイルス対策とは別に、低所得世帯の学生には給付型奨学金や授業料免除の制度が4月から始まっている。文部科学省の担当者は「これと合わせて申請してもらえれば」と話している。

また、各大学・高等専門学校などで最大20万円の臨時給付金の申請を受け付けているほか、授業料減免制度も広がっている。政府は2020年度予算の2回の補正でこれらの支援策を計上する。1次補正予算の準備費で予算を手当てした「学びの継続」のための「学生支援緊急給付金」は、住民税非課税世帯(家族4人で年収約270万円以下)の学生に20万円、これ以外の所得世帯では10万円を支給する。支給要件は6つある。日本の学生の場合で①家庭からの多額の仕送り(年150万円が目安)がない②下宿③アルバイト収入に依存④家庭の追加支援が期待できない⑤アルバイト収入が前月比5割以上減少⑥すでに奨学金などを利用が審査の基準になる。

東大は6月10日、早大は7日が締め切りとしている。学校は書類を審査して日本学生支援機構(JASSO)に推薦。足元では申請から1週間程度で支給されている。6月3日時点で現金を受け取ったのは80人程度だ。申請には申請書や誓約書に加え、アパートの賃貸契約書の写し、アルバイト先からの給与明細などの書類が必要だ。ウェブで必要事項を記入し、書類は郵送を求め、書類が多いが、全体の2割弱にあたる900校弱は学生が使い慣れた「LINE」での申請も認めた。スマートフォンで撮影した必要書類の写真を添付する。

# 人事が見る大学イメージランキング

順位	大学名	総合得点
1	横浜国立大学	32.68
2	東京工業大学	32.08
3	筑波大学	31.87
4	一橋大学	31.59
5	早稲田大学	31.55
6	東京海洋大学	31.40
7	東京大学	31.33
8	慶応義塾大学	31.07
9	千葉大学	30.64
10	東京外国語大学	30.47

# 横国大が関東・甲信越1位

日本経済新聞社と就職・転職支援の日経HRが実施した「人事が見る大学イメージ調査」によると、関東・甲信越地域で最も評価が高かったのは横国大だった。1行・甲信越地域で最も評価が高かったのは「対人力」の項目で、高いのは横国大、2位は東京工業大、3位は筑波大、4位は筑波大、5位は筑波大、6位は筑波大、7位は筑波大、8位は筑波大、9位は筑波大、10位は筑波大。

## 「行動力」など評価高く

関東・甲信越の上位10校のうち筑波大以外は首都圏(1都3県)の大学だった。調査は全上場企業と一部有力未上場企業を対象に実施。新卒採用した学生の大学についてイメージなどを聞き、点数化した。

を吸収してもらえ」といった声があった。東大は全国でも7位と高かった。「知力・学力」「独創性」の項目で評価が高く、「粘り強く研究に取り組んでくれる学生が多い印象」などの意見があった。筑波大(全国9位)は「独創性」などで高評価を得た。5位の早稲田大は、私立としては全国最高(同12位)で、「グローバル視点や個性のある人材が多い」といった声があった。



# 大学入試対応策「月内に」首相

安倍首相は8日の衆院本会議で、新型コロナウイルスの感染拡大を受け、大学入試に関し、日程や出題範囲などを盛り込んだ対応策を月内にまとめる考えを示した。「高校、大学の関係者などとも十分相談のうえ、今月中に方針を示す」と述べた。首相は「現在、全国の高等学校を対象に生徒などの意向を調査しており、その結果を踏まえる」と述べ、文部科学省が行っているアンケートの結果を踏まえる意向も明らかにした。

## 元アメフト部長 日大学長に

日本大は8日、大塚吉兵衛学長(75)が任期満了となるのに伴い、次期学長に加藤直人・文理学部教授(69)を選任したと発表した。5日の理事会で決まった。任期は9月1日から3年間。加藤教授は文理学部長や副学長を歴任。2018年のアメリカンフットボール部の危険タックル問題では、当時のアメフト部の部長として負傷した学生らに謝罪した。

# 大学入試「予定通り実施を」

日経

## 文科省 高校調査で意見多数

2021年度の入学者を選抜する大学入試を巡り、文部科学省が全国の高校を対象にしたアンケートで、予定通りの日程での実施を求める意見が多かったことが10日、関係者への取材で分かった。新型コロナウイルスの影響による長期休校で学習の遅れが出ていることから、入試日程を繰り下げる案が浮上している。同省は高校や大学などの意向を踏まえ、例年通りの日程での実施も視野に慎重に検討を進める。

同省は11日、来年の入試日程などについて高校や大学と協議する会合を開く。ここで出た意見を

どをもとに、大学入学共通テスト(20年までは大学入試センター試験)を含む大学入試全体の選抜方法の指針をまとめ、6月中旬に「大学入学選抜実施要項」として示す方針だ。

会議に先立ち、同省は2日から全国高等学校長協会を通じて▽入試日程を全体的に遅らせる▽出題範囲を限定する▽などが必要かどうか、全国の高校にアンケートした。関係者によると、感染者が少ない地域や私立の高校では従来通りの時間割をこなしている学校も多く、全国一律での日程延期に慎重な声が大勢を占めた。

5月末まで政府の緊急事態宣言の対象となった首都圏や北海道では、3月から休校が約3カ月続いた。学習の遅れに対応

するため、政府・与党は入学や始業の時期を交える「9月入学」の導入を検討。準備が間に合わないことから20年度と21年度の導入は見送ったが、自民党は大学入試日程の2週間～1カ月程度の延期を求める提言をまとめていた。

同省は既に、20年秋から始まる総合型選抜(現在のAO入試)や学校推薦型選抜(推薦入試)については、各大学に実施を遅らせることや評価基準を緩和することなどの配慮を求めている。国立大学協会は時期の繰り下げを検討していると表明。公立大や私立大も足並みをそろえろとみられる。

# 高校就活1か月遅く

## コロナで準備不足配慮

10月に解禁試験

新型コロナウイルスによる高校の長期休校を受け、文部科学省と厚生労働省は、高校生の就職活動のスケジュールを遅らせることを決めた。選考解禁日を9月中旬から1か月遅らせる。休校で就活の準備が大幅に遅れている生徒らに配慮する。

高校生の就活は、選考の早期化を防ぐため、文科・厚生労働省が毎年、都道府県に日程を通知している。例

### 変更後の高校生の就活スケジュール

7月1日～	企業が求人票を公開
10月5日～ (9月5日～)	応募書類を提出
10月16日～ (9月16日～)	選考開始、内定の連絡

※( )内は当初の日程

し、9月の選考解禁に臨んでいた。今年7月1日から学校への求人申し込み、9月16日から企業による選考が始まる予定だった。しかし、新型コロナウイルスの感染拡大で、全国の高校は3月から長期休校を強いられた。6月にほとんどが再開したもの、分散

登校を余儀なくされ、夏休みを短縮する高校も多い。現場からは「新型コロナウイルスの影響で家計が苦しくなり、進学をあきらめる生徒もいる。休校中は対面での進路指導ができず、就職活動の準備が進んでいない」（千葉県某の公立高教諭）といった声が上がっていた。このため両省では、選考解禁日を10月16日にずらすことで準備不足を解消し、9月にも職場体験をできるようにする。

文科省によると、高校卒業後に就職するのは全体の約2割にあたる約18万人。登校などの実施。各校は夏休みや冬休みを短縮して授業時間に充てるが、授業計画は最大で3か月ほど遅れる可能性があり、年明けの受験シーズンまでに通常の出題範囲分の学習が終わらない見通しだ。

このため、都教委は都立高入試の国語、数学、英語、社会、理科の各科目について、中学3年で学習する範囲の一部を出題対象から外すための調整を進めている。一方、入試日程を変更すれば混乱を招くとして、当初の予定通り実施する方針で、都立高の一般入試は2月21日、合格発表は3月2日となる予定だ。

## 都立高入試出題範囲減へ

新型コロナウイルスの感染拡大で学校の休校が長期化したことを受け、東京都教育委員会は、来年の都立高入試の出題範囲を絞り込む方針を決めた。中学3年

の学習内容のうち、2〜3か月分程度を出題範囲から外す方向で調整している。11日の都教委定例会を経て公表する。

3月から休校に入った。5月25日に政府が緊急事態宣言を解除したことで再開さ

スポーツ推薦入試については、成果を評価する大会が相次いで中止されたことから、各高校が、これまでも行っている実技試験をよ

り重視して合否を判断する案を検討している。



# 中高校生 SNS相談1200件

## 休校長期化で 学業や生活変化に悩み

新型コロナウイルスの感染防止で長期間登校できなかった中高校生たちが、不安や悩みを抱えている。臨時休校中に県教育委員会が始めたソーシャル・ネットワーキング・サービス(SNS)の相談窓口には、1か月半で約1200件の声が寄せられた。進路や学業、生活の変化に関する相談が多く、県教委は学校への支援体制を強化する。(員塚麟太郎)

線海浜警察署で8日、市内に住む中学2年の男子生徒(14)が電車にはねられ死亡した。自ら走って線路に飛び込む姿が防犯カメラに映っており、県警は自殺とみている。

関係者によると、男子生徒は東京都内の中高一貫校に通っていた。いじめを受けたり、悩んでいたたりする様子は見られなかったが、6月1日の学校再開後、2度欠席。休校による学業の

遅れについて、不安を抱いていた可能性があるという。

県教委は学校再開前の5月27日、各学校に通知を出した。「児童生徒が発する小さなサイン(SOS)を見逃さず、組織で情報を共有して対応する」などと、自殺防止を含めて注意するよう求めた。

このほか、保護者や教職員向けに、子供たちとの接し方のポイントを記したパンフレットを作成。子供たちが学校で悩みを打ち明けやすいように、スクールカ

ウンセラーやスクールソーシャルワーカーによる相談時間を増やす考えだ。

県教委は「困ったことや気になることがあれば学校だけでなく、相談機関やSNS相談も活用してほしい」と子供たちに呼びかける。保護者に対しては「家庭で異変を感じたら、スクールカウンセラーに連絡するなどしてほしい。一緒に子供たちを見守ってほしい」としている。

合どう接したらいいのか。「自分のペースでいいよ」と、まず子供の選択を認めてあげる。理由を聞いて、対処法を探すのは、その後にしてほしい。」

### 新型 コロナ

業が短縮されて不安となり、学業や進路に関するものが91件で最多。次いで健康上の不安が87件、友人関係が58件だった。「感染が広がると、前年の友人との関係を維持できるか」「入学直後で友対けを開始。無料通信アプリ「LINE」を通じて、臨臨のうちに吐露する生徒もいるという。

約3か月に及んだ休校談に及びている。原則毎週水曜と日曜だったが、多くの係者にとって未知の経験だ。周囲が想像する以上に、生徒たちが精神的に不安定な状態に陥っている可能性もあ

### ◆子供のSOSのサイン

- ▽表情が暗い。口数が少ない
  - ▽言葉遣いが乱暴
  - ▽普段以上に明るく振る舞う
  - ▽朝起きられない。不眠
  - ▽頭痛など体調不良を訴える
- ※高橋専務理事の話を基に作成

チャイルドライン  
支援センター

高橋弘恵・専務理事

子供が発するSOSを見逃さず、対応するにはどうすればいいか。主に中高生の相談を受けているNPO法人「チャイルドライン支援センター」の高橋弘恵・専務理事(59)に聞いた。

「長期休校の影響は。今の状況は、子供にとって不安になる要素しかない。登校するだけでも非常

## 少しでも違う様子 注意を

に疲れるはずだ。心境を想像し、理解する必要がある」と、家庭内で注意することは。

「少しでも普段と違った様子があれば、十分注意してほしい。落ち込んだ様子だけでなく、突然明るく振る舞うようになった場合は、不安を見せないようにしている可能性がある」と

「登校再開と同時に新学期が始まった。担任が代わるなどして、教員も子供の性格を把握しにくい可能性がある。様子を共有する」とは、教員の助けにもなる。子供は、家族以外から話

「変化が見られた時、どう対応するべきか。」「子供の話や意見を否定

「登校を拒否する場



SNS相談のQRコード

# 学び育む

## 携帯持ち込み 9割が原則禁止

全国の公立小中学校の9割強が児童生徒の携帯電話やスマートフォンを持ち込みを「原則禁止」としていることが、文部科学省の調査でわかった。ただ、このうち、約7割は例外的な持ち込みを認めていた。文科省は原則禁止としている現在の方針を見直し、今後新たな考え方を示す。

全国の公立小中学校などを対象に昨年8月1日時点の状況を抽出調査でまとめた。5月末の文科省の有識者会議で示された。

それによると、公立小の95・9%、公立中の98・7%が持ち込みを原則禁止としていた。ただ、例外的に認めている場合も

### 公立小中 「一定の事情で可」7割

◇携帯電話の持ち込みを原則禁止としている割合

小学校	中学校
95.9%	98.7%

◇持ち込みを認めている場合、その理由

災害時の緊急連絡手段	35.7%	37.5%
犯罪や事故の際の緊急連絡手段	50.0%	50.0%
自主性・自律性に委ねるのが適当	3.6%	12.5%

※小中とも公立。2019年8月時点。文科省調査を基に作成

あり、小学校の67・1%、中学校の72・1%は「一定の理由・事情に限って家庭からの申請で

認めている」とした。「機能を限定した機種に限って家庭からの申請で認めている」も小学校2・4%、中学校0・4%あった。

「例外は認めていない」としたのは、小学校の26・7%、中学校の26・6%にとどまった。持ち込みを認める学校にその理由(複数回答)を尋ねたところ、「犯罪や事故の緊急連絡手段の確保」が小中とも50・0%でトップ。「災害時の連絡手段」も小学校35・7%、中学校37・5%と多かった。取り扱いのルールに違反した際の罰則を定めているのは小学校5・6%、中学校40・0%だった。

一方、都道府県教育委員会への調査では59・7%が持ち込みに関する方針を策定。このうち、高校を原則禁止としたのは18・2%だった。

Here's a little tip. ちょっとしたコツがあります

### 街で使える英会話

\* 料理編



イラスト 沢田彩月

A: Here's a little tip for making crispy tempura: Use ice-cold water for the batter. (さくさくした天ぷらを作るにはちょっとしたコツがあります。衣には氷のように冷たい水を使うのです)

B: Oh, that's good to know! (へえ、それはいいことを知りました!)

Here's ...という表現は、相手に何かを紹介するような時に使われる表現です。batterは揚げ物の衣やケーキなどの生地のことを言います。

監修 英会話イーオン 六戸純子



※読売新聞オンラインに音声

\*ご意見は 〒100-8055 読売新聞東京本社教育部 (ファクス 03-3217-9908、メール kyouiku@yomiuri.com) へ。



No.2488



# 教育ルネサンス

## オンラインで学ぶ 1

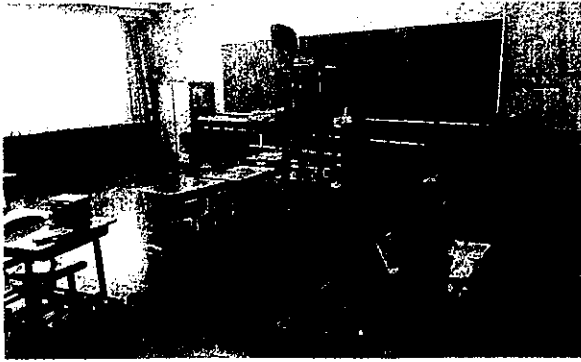
新型コロナウイルスの感染拡大による学校休校の長期化で注目されたのが、インターネットで学校と児童生徒の家庭をつないで行うオンライン学習だ。各地での取り組みや見えてきた課題を探る。

# 1日6コマ遠隔授業

## 一斉休校で即対応

### ◆学校とつながる

休校中の5月22日、私立さつき学園小学校（さいたま市）のがらんとした教室で、2年生担任の塚田智子教師（30）が野菜の画像を見せながら、パソコン画面に映る児童らに呼びかけた。「屋上の野菜はこんな状



生活科の授業をオンラインで行う私立さつき学園小学校の塚田教師。パソコン画面には自宅の児童らが映る（5月22日、さいたま市）

況です。どう育てたらいいか話し合せて教えてください」

在宅の児童26人とウェブ会議システム「Zoom（ズーム）」でつないで実施した生活科の授業。学校に来られない児童らの代わりに、教員が野菜を植え、児童らが決めた通りに育てている。できた野菜でカレーを作るのが目標だ。

「水はどうする？」「肥料は？」。児童らはズームのグループ分け機能で3グループに分かれ、真剣に話し合った。

同小は2年前から、ICT（情報通信技術）を活用した授業推進のため、学校が約500人の全児童分のタブレット端末をレンタルして配布。児童らは体育で自分の動きを撮影して問題点を見つげたり、自宅に持ち帰ってインターネットで調べ学習をしたりして文房

## 双方向型とオンデマンド型

オンライン授業には、ズームなどを使い、教員と子供が映像や音声をつないでやりとりする「双方向型」や、教員らが事前に作成した授業動画や教材をネット上に保存し、子供はいつで

も繰り返し視聴したり、教材に取り組んだりできる「オンデマンド型」のタイプがある。

双方向型で使われるズームなどのアプリは、操作が簡単なことから急速に普及

算数などは半年より2、3割速く進んでいるという。時にはズームに入れないなどのトラブルもあり、授業の動画作成など準備に時間がかかる。そのため、オンラインでなくても取り組める課題を用意、クラス合同で授業するなど省力化も図った。小野田正範校長（62）は「教員同士がズームの使い方を教え合うなど短時間で慣れることができた。今回の方法は学校再開後も活用していきたい」と話す。

保護者が費用を負担し、学校がタブレット端末を確保。全校生徒が50人と少なく、すぐに対応できた。休校中は1日2、3コマのズームなどによる授業を行ってきた。

### ◆社会とつながる

私立新渡戸文化中学校（東京都中野区）では一斉休校の要請を受け、急ぎよ



オンライン授業を見守る私立新渡戸文化中学校の教師たち（4月22日、東京都中野区）

「オンラインならではの可能性を探り、コロナ後の教育をデザインし直すことにつなげたい」と山本崇雄・統括校長補佐（50）は話した。

オンライン授業を見守る私立新渡戸文化中学校の教師たち（4月22日、東京都中野区）

中学受験サポート

<https://www.yomiuri.co.jp/kyoiku/support/>

お薦めコンテンツ 時代の子カラモットーに

読書教育の力 <https://kyoiku.yomiuri.co.jp/>

# ニュース de 道徳

第2、第5水曜日に掲載します。

**新型コロナウイルスの影響**  
 で約3か月にわたった休校が終  
 わり、今月からほとんどの学校  
 で授業が本格的に再開されま  
 した。再び感染が広まらない  
 よう、私たちはどのように学  
 校生活を過ごせばよいのでし  
 ょうか。

**安倍首相**は2月27日、新型  
 コロナウイルスの感染拡大を防  
 ぐために、全国の小中学校の休  
 校を呼びかけました。その結果、  
 ほとんどの学校が春休みまでの  
 休校を決めました。感染を抑え  
 るには、社会全体で人との接  
 触の機会を減らすしかありま  
 せん。休校もその一環でした。

当初、学校は4月から再開で  
 きると思われていましたが、感  
 染は広まり続け、4月7日に東  
 京や大阪など7都府県に緊急  
 事態宣言が出されました。16日  
 には宣言は全都道府県に広が  
 りました。

5月に入って感染者数が減り  
 始めると、感染者の少ない地域  
 から緊急事態宣言の解除が進  
 み、25日にようやく全面解除さ  
 れました。それを受けて、首都  
 圏などでも6月1日から学校の  
 授業が再開されたのです。

6/10 B

## 学校再開 新しい生活



児童たちはお互いに間隔を空けて授業を受けるなど、新型コロナウイルスは学校生活を大きく変えた（6月1日、東京都内の公立小学校で）

でも、今まで通りの学校とい  
 うわけにはいきません。これか  
 らの学校生活で何に気をつけ  
 ばいいでしょうか。  
 まずは、登校時の検温、手洗  
 い、マスク着用などが基本とな  
 ります。その上で、「密」（密  
 閉、密集、密接）を避けるこ  
 とが大切です。教室では、机  
 の位置を離し、こまめな換気が  
 必要です。  
 感染の広まるリスクが高い地

域によっては、避けた方がよい  
 活動や行事もあります。  
 お互いの距離が近くなる調理  
 実習や観察・実験、体育で組み  
 合ったり、触れ合ったりする運  
 動などです。給食での会話の  
 禁止や修学旅行を中止する学  
 校もあります。  
 学校での楽しみが減るかもしれ  
 ませんが、今は登校できる環  
 境を保つことが最優先です。  
 では、感染する可能性が今も  
 あるのに、学校を再開するのは  
 なせでしょうか。  
 感染リスクがゼロになるまで  
 待つと学校はいつまでも再開で  
 きません。国際医療福祉大教  
 授の和田耕治さんは「学校で勉  
 強したり友達と何かをしたりす  
 ることも、みなさんには大切な  
 ことです。だから、感染対策を  
 しっかりと行うことで学校を再  
 開するのです」と説明していま  
 す。

### 【みんなで考えよう】

- ① 休校から学校再開までの新型コロナウイルスに関する社会の動きをまとめよう。
- ② 休校の間、どんなことが心配だったか。その期間に取り組んだことはあるか。
- ③ 感染予防と学校生活の両立のため何に気を付けるべきだろう。
- ④ コロナを乗り越え、新しい学校生活を作り上げるのに自分ができることは。



読売新聞オンラインでは、この道徳テーマの授業の際に参考になるニュースを紹介しています。スマートフォンはQRコードからもアクセスできます。



### 指導の参考

【道徳項目】よりよい学校生活  
 【指導目標】感染症予防の基本的な対策を理解し、今やるべきことを考え、よりよい学級や学校をつくっていかうとする意欲をもたせる。  
 【はじめ】前文を読み、黒板に「学校再開～新しい学校生活～」と書き、学習課題をつかませる。  
 【なか】Aを読み、①を問う。新聞やカレンダーを使い、各自ノートなどに時系列でこれまでの経

緯をまとめさせる。②を問い、休校中の自分の生活を想起させる。不安だけでなく、家庭で取り組んだ学習や手伝いなども積極的に取り上げる。  
 Bを読み、③を問う。生活や学習面だけでなく、友達への思いやりの気持ちや自分の目標についても意識を広げ、Cにつなげる。  
 【おわり】Cを読み、④を問う。「コロナを乗り越える」とはどんな意味なのかを考えさせる。学校再開をポジティブにとらえて、自分たちでよりよい生活をつくっていかうとする意欲を高める。

◇監修・佐藤華司さん  
 山形市立鈴川小学校校長。小学校用だけで500本以上の道徳教材を開発し、正会員約500人の教育研究団体「道徳のチカラ」代表。最新刊に「とってあきの道徳授業17」(日本標準)。

# 6/19日経 大学入試、延期要請へ

## 高校校長の団体 1カ月繰り下げ

全国高等学校校長協会（全高長）は13日、47都道府県の代表者と協議し、大学入試の日程を1カ月延期するよう求める方針を決めた。文部科学省や大学団体に近く要望書を提出する。大学入学

共通テスト（2020年）までは大学入試センター試験）を含めた全ての選抜を対象とする。新型コロナウイルス感染症拡大による休校の影響を踏まえ、文科省は6月上旬、全高長を通じて大

学入試で必要な配慮策を問う全国調査を実施した。共通テストや一般入試について「予定通り実施すべきだ」とした高校が約7割に上った。ただ、13日の協議では、休校が長期に及ばなかつ

た地域からも「関東圏など厳しい地域にしっかりと配慮しなければならぬ」（島根）、「日程延期を求めた3割の意見を反映すべきだ」（栃木）などの意見が出た。全面再開に至っていない地域の状況を踏まえ「予定通り」との回答を翻す校長も多かったという。

全高長の萩原聡会長は「進学を希望する全ての高校生に失われた学習機会を保障し、十分な進路指導をおこなう時間を確保するよう求める」と述べた。要望書には総合型選抜（現在のAO入試）や学校推薦型選抜（推薦入試）、共通テスト、国公私立大の一般入試すべての時期を1カ月程度ずらすことを盛り込む。

大学側は会場確保などの事務負担を懸念し、延期に反対する意見が多数を占める。萩原会長は「高校生の置かれている状況を考えると、延期できない」と言うのは理解しかねると批判した。文科省は17日にも大学入試全体の選抜方法などの指針「大学入学者選抜実施要項」を巡る2度目の会合を開く。要項は6月中に示す。

# 高校団体の要望書受理せず

## 文科省 大学入試繰り下げ巡り

全国高等学校長協会（全高長）は16日、2021年度の入学者を確保する大学入試の日程を1か月程度繰り下げようとする文科省に要望した。同省担当者は「高校の総意でない」として要望書を受け取らなかった。大学側も日程変更は消極的な姿勢を崩していない。

### 「高校の総意でない」

文科省は17日、大学や高校関係者を集め、大学入試日程などを巡る2回目の協議を開く。同省は入試全体の指針の「大学入学者選抜実施要項」を6月中旬にもまとめる方針だが、高校と大学の意見の隔たりは大きい。

全高長は、新型コロナウイルスの影響で休校が長期化した地域の学習の遅れに配慮する必要があるとの認識で一致。大学入試共通テスト（20年度までは大学入試センター試験）など全ての選抜日に実施したアンケート結果を受け取らなかった。要項書を受け取らなかった背景には、同省が全高長を通じて6月2～9日に実施したアンケート調査の結果を巡る混乱もあつた。調査には全国約4300校の国公私立高校長が回答した。大学入試日程について、予定通りの実施を求める回答が約7割、2週間～1か月程度延期を求めた回答は約3割にとどまった。文科省の1日時点での調査では、全面再開している高校の割合は25%で100%、5割限りで100%、5割限りで100%以上だった。5月の大型連休明けから徐々に学校を再開し、5月中旬に通常の時間割をこなしている自治体が多く、そうした状況がアンケート調査の結果に反映された。

2020年度の大学入試スケジュール	
2020年	
6月	大学入学者選抜実施要項発表
9月	総合型選抜(旧AO入試)の出願開始 ↓ 文科省、開始時期の繰り下げ検討
11月	学校推薦型選抜(旧推薦入試)の出願開始
21年	
1月16、17日	大学入学共通テスト
2月25日～	私大の一般選抜 国公立大の前期日程試験 ↓ 国公立大の後期日程試験
3月12日～	全高長、大学入試日程の繰り下げ要望

文科省は11日、大学入試日程などを巡る2回目の協議を開催。アンケート調査の結果を公表し、共通テストなどは予定通りの日程で実施する調整に入った。

ただ、全高長は文科省の調査期間中の6日、全国代表者とオンライン協議を開催。首都圏の校長が「数学Ⅲと物理はまだ授業がスタートしていない」と報告すると、他地域から驚きの声が上がった。既に調査に「予定通り実施すべきだ」と回答した校長から「それなら地域差に配慮すべきだ」との意見表明が相次いだ。18日にも同様のオンライン協議を開催。「地域差に驚いた先生が多い。3割の意見を反映すべきでは」（栃木）「状況が厳しいところに寄り添うのが望ましい」（兵庫）など、学校再開が遅れている地域に配慮すべきだとの意見が大勢を占めた。調査の結果とは異なるが、全高長は大学入試日程の繰り下げを求める方針をまとめた。

これに対し、大学側は把握しているかと危惧している」（永田恭介会長）との批判も出た。私大からも試験会場の確保など事務負担が増える懸念ではない」との見解で一致した。一（全高長の萩生田光一文科相は16日の閣議後の記者会見で、大学側に対し「今年にしたい」と述べた。

# 共通テスト日程変えず

## 高3「2週間後」選択可

文科省案

文科省が、2021年度入学共通テストを予定通り1月16、17日に実施する案をまとめたことが分かった。17日に開かれる大学、高校関係者らとの会議で同案を示す。本試験の2週間後に追試験を行い、長期の休校で学習の遅れが心配される高校3年生の受験も認める方向だ。

文科省は関係者の了承を得て、今月中に大学入試の実施要項をまとめる。大学側が予定通りの実施を求めているのに対し、公立高校の校長らは日程の1か月繰り下げを主張しており、反発も予想される。共通テストは、大学入試センター試験に代わって来年から始まるテスト。文科省案によると、来年の共通テストは予定通り行い、一般入試は2月から始められることになる。一方、今年9月から出願が始まる総合型選抜(旧AO入試)は2週間～1か月程度、実施を繰り下げ、学校推薦型選抜(旧推薦入試)は11月から出願を始める。大学には出題範囲を限定するなどの配慮も求める。

文科省は関係者の了承を得て、今月中に大学入試の実施要項をまとめる。大学側が予定通りの実施を求めているのに対し、公立高校の校長らは日程の1か月繰り下げを主張しており、反発も予想される。

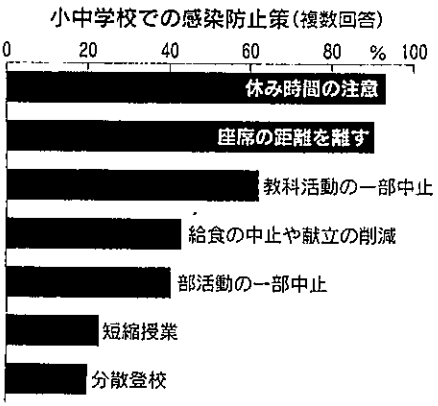
# 分散登校・短縮授業 4割で

## 都市部の公立小中 日数不足も

全国主要市区の公立小中学校の4割超が、新型コロナウイルス対策で分散登校や短縮授業に取り組んでいることが日本経済新聞の調査で分かった。授業不足を補うため9割が夏休みを短縮する。家庭学習も授業として算入するなどして年間の学習課程(3面きょうのことば)を終える方針。学びの質を確保できるかが課題となりそうだ。

### 学びの質課題

日本経済新聞は東京23区と道府県庁所在市・政令市の計74自治体を対象に、公立小中の新型コロナウイルスへの対応を調べた。授業をはじめ緊急事態宣言が長引いた地域では、



れかまたは両方実施は全体の4割超に上った。夏休みは9割の自治体で短縮する。東京は23区を中心に多くの自治体で

授業数が不足しそうだ。夏休みを25日間短縮する富錦区のある小学校では、小6は4月以降で190コマ、5年生時の3月分で80コマの計270

コマが不足している状態。校長は「夏休みを短縮しても100コマ以上足りない」という。文部科学省は5月、一部の授業内容を家庭学習など授業外で補うことを認める通知を出した。小6の場合、国語なら文章を読むことや考えたことを書くこと、算数では教科書の問題を解くことなどを例示した。保護者には戸惑いが広がる。小3男子を育てる東京都中央区の共働きの女性会社員は「小学生の留守番中の自習と、教室

での授業は同じだろうかと疑問視する。大半の自治体は文科省の通知に沿って家庭学習分を算入するなどして年間課程を完了させる方針で、課程を「終えられない」と回答した自治体はなかった。ただ「終えるよう努力する」(東京都渋谷区)など、明確には見通せないとする回答も7自治体あった。名古屋大の内田良准教授(教育社会学)は「もともと質や機会の平等を担保するのが学校教育の重要な機能。家庭に任せすぎると学びの質の低下や教育格差拡大の恐れがある」と警告する。

「第二波」に備えることも、今後の教育改革の柱にも位置付けられる同時双方向型のオンライン学習も道半ば

だ。導入済みは9自治体。2学期までに導入環境が整ったものも7自治体にとどまった。文科省は2020年度中にも小中学生に1人1台の端末を配備する方針。だが多くの自治体が教員の指導力や家庭の通信環境を課題に挙げたほ

### 自治体・学校ごとに編成

各学年の年間標準授業時数(2020年度)

小学校	1年	2年	3年	4年	5年	6年
1コマ=45分授業	850	910	980	1015	1015	1015

中学校	1年	2年	3年
1コマ=50分授業	1015	1015	1015

きょうのDDB

▽:学校教育法などに基づく「学習指導要領」や、同法施行規則で定める年間の「標準授業時数」をもとに、自治体や学校ごとに編成される学習計画。指導要領は約10年ごとに改訂され、2020年度基準とし、小1は850コマ、小6なら1015コマ。中学校は50分授業で各学年1015コマを目安とする。施行規則には校長の判断で進学・進級すべき規定があり、指導要領や標準授業時数を満たしていなくても自動的に留年するとはない。

▽:文科省の「教育課程の編成・実施状況調査」によると、全国の小中学校約2万9千校の18年度計画の平均授業時数は、全学年で標準時数を上回った。担当者は「学力低下懸念を背景に、近年は標準を超えて授業時数を設定する学校が多い」と話す。

# 第2の地球を探せ!

**地球に似ている?**  
惑星ケプラー-452b想像図

**見つけ方**  
惑星が通り過ぎる時の影を観る

自分で光る「恒星」のまわりを回る「惑星」(太陽系をのぞく) 4000以上見つかった

第2の地球の条件  
液体の水がある  
ちょうどよい温度

多くの系外惑星を見つけたケプラー宇宙望遠鏡

イラスト モダングラフィティ / キャラクター 唐沢なをき

## ポイント

\* 恒星のまわりを回る「系外惑星」は、4000以上見つかっていて、地球に似ているところがある星もあるのよ。そういう惑星には、生命が育まれるのに重要な「液体の水」もあるかもしれないわ。

\* 系外惑星の見つけ方には、恒星の前を通り過ぎる惑星の「影」を見つけてる方法や、惑星の重力の影響で恒星がわずかに揺れるのをとらえる方法などがあるわ。

発見方法はほかにもある。恒星は、周囲を回る惑星の重力の影響でわずかに揺れている。この揺れを観測する方法で1995年、系外惑星の第一身が見つかった。

研究者たちは、工夫を重ねて系外惑星の大きさも調べようとしている。国内の望遠鏡を使った観測を計画する長田哲也・京都大教授(83) (赤外線天文学) は「大気の様子が分かってくれば、生物がいる可能性のある星が見つかるかも」と期待している。(伊藤崇)

# 「水の星」生き物いるかも

宇宙にはたくさん星がある。そのなかで、地球みたいに生き物がいる星はあるのかしら。



太陽のまわりにはたくさん星がある。太陽のまわりには「恒星」といって、地球のまわりには「惑星」といって、恒星のまわりを回っているのが「惑星」だ。太陽を中心とした「太陽系」の惑星は、全部で八つ(水星、金星、地球、火星、木星、土星、天王星、海王星)がある。

「惑星」と呼ばれ、これまで400以上見つかった。地球に似ていると考えられる系外惑星の一つが「ケプラー-452b」だ。太陽から1400光年(光の速度でかかる年数)も離れた遠い宇宙にあり、太陽とほぼ同じ重さの恒星のまわりを385日かけて回っている。半徑は地球の1.6倍で、地球のような岩石の惑星ではないかと考えられている。

「この惑星に生き物はいないのか。成田憲保・東京大教授(39) (系外惑星科学) は「地球上の生き物は、一生のうちのごく一部で必ず『液体の水』を必要とする。生命が育まれるには、水が重要と考えられているのです」と説明する。

液体の水があるかは、恒星との距離などによる。恒星から近いと熱すぎて蒸発し、遠いと冷たすぎて凍ってしまうので、中間のちょうどよい温度の位置に惑星がある必要がある。成田さんは「液体の水がある惑星はまだ見つかっていませんが、ケプラー452bにはあるかもしれない」と話す。

系外惑星はどのようにして見つけるのだろうか。自分では光らない惑星を探し出すのは難しい。そこで考え出された方法の一つが、惑星の「影」をとらえる方法だ。

地球から見ると、惑星が恒星の手前を通り過ぎると、恒星が少しだけ暗くなる。米航空宇宙局(NASA)のケプラー宇宙望遠鏡はこの方法で、ケプラー452bなどたくさん星の系外惑星を見つけた。

## コロナで教育格差 若者6割「感じる」

新型コロナウイルスの影響で続いた学校、大学の休校で、若者の6割近くが教育格差を

感じていたことが日本財団の「18歳意識調査」でわかった。調査は5月下旬、全国の17~19歳の男女1000人を対象に実施した。調査結果によると、休校措置で「教育格差を感じる」と答えたのは58.6%に上った。格差を感じる理由(自由記述)では、オンライン授業の導入状況や休校期間の差、家庭環境などが挙げられていた。

休校で最も困ったのは「授業」が37.4%で最も多く、「ネット環境がわるく授業が受けにくい」などオンライン授業

への対応に戸惑う声が目立った。「友達とのコミュニケーション」は20.3%で「大学に入学してもまだ新しい友達ができない」「友達と会えず気持ち暗くなった」など学生生活を十分に楽しめていない状況もうかがえた。



# ウェブ就活 不安解消に奔走



新型コロナウイルス対策でビデオ会議システムを使って就活情報をライブ配信する＝明治大提供

## 明治大 チャットで質問 神田外語大 O.B.O.G交流

各地の大学の就職課やキャリアセンターが、2021年春卒業予定の学生の就職活動(就活)支援対策に追われている。新型コロナウイルスの感染拡大で、多くの企業は3月以降に面接などの選考過程をオンラインに切り替えた。これまでにない「ウェブ就活」への学生の不安を解消しようと、大学側もオンライン上での支援プログラムに知恵を絞る。

昭和女子大が5月下旬、学生も含めて約500人に企業の採用担当者や人材が参加し、「企業情報は材料集め、オンライン上」で開いた「コロナ非常時の就活」シンポジウム。来春卒業予定の学生の

就活は例年と様変わりしている。3月から本格化する会社説明会が新型コロナウイルスの影響で軒並み中止に追い込まれ、選考手法もウェブが主流に。各大学の就職支援担当者は「インターシンプなど早くから活動し、内定を得た学生と、そうでない学生との差が例年以上に目立つ」と危機感を募らせる。

明治大は就職キャリア支援センターのスタッフが3月下旬から、学生向けの就活情報をビデオ会議システム「Zoom」を使いライブで配信を始めた。毎週2回更新し、学生はチャットで自由に質問できる。毎回約150人の学生が参加するといふ。

就職キャリア支援センターの青木博氏は「寄せられた質問は100件を越えるなど、多くの学生が不安を強めていることがはっきりと分かった」と話す。同大では、企業セミナーや模擬面接など各種の就活支援プログラムも今年はずべてオンラインで実施。予約制の個別相談に応募する学生も、当初こそ昨年の6割ほどだったが、例年並みに戻ってきた。

東洋大も対面での企業説明会を3月以降はウェブ形式に切り替えた。参加する企業は例年よりも減ったものの、集まった学生数は昨年の約3倍にも増えたという。「いつでもどこからでも参加できるオンラインの強みが出てくる」(同大)とみる。

オンラインでの就活相談は近畿大が4月中旬から、武蔵大(東京・練馬)や実践女子大は5月から開始するなど、各地の大学ですでに一般的となった。京都産業大はオンラインでの支援に加え、就活に困っている学生一人ひとりに電話でも対応。保護者にも話がきき送り、大学の就活支援内容を知らせている。

ウェブを自ら活用し、新たな就活支援の対策に乗り出す動きも広がっている。神田外語大(千葉)市は、同大の卒業生であるO.B.O.Gとの交流会をビデオ会議システムを使い実施。同大グループコミュニケーション部の担当者は「海外在住の卒業生にも参加してもらえ、学生の会社選びやキャリア形成にもより参考になる」と期待する。

パンクやマイクなど

ウェブ面接に必要な設備をそろえた部屋を用意し、6月8日から稼働させたのは北里学園大(札幌市)だ。ウェブ面接を導入する企業が相次いでいることを受け、練習用だけでなく「面接本番にも使ってもらいたい」と想定しているという。

大学にとって卒業生の就職実績は、少子化が進む中で学生を安定的に集め続けるうえで大きな意味を持つ。来年度以降もウェブを活用した採用は多くの企業で定着するとみられており、大学には支援策のさらなる拡充が求められそうだ。



就活に関する悩みや不安を持つ学生に対してチャットを活用した個別相談を実施＝京都産業大提供

### 企業動向読めず困惑

コロナ禍により、首都圏や関西では前期授業までキャンパスへの立ち入りを禁止している大学も多くなっていることだ。観光や運輸業で採用を一時中止する動きがすでに目立っているほか、中小の製造業などが業績の悪化で予定していた採用人数を今後減らす可能性もある。

明治大は6月8日に150社に採用状況のアンケートを送付。採用を中

断している企業には「秋以降の再開などをお願いしたい」という。

(松藤政司)

「意見・情報は電子メール、nikkei04@net2.nikkei.co.jpへ寄せたい」という。



### SDGsかるた——関西学院大

#### 目標達成の行動、読み札に

学校の教材としての活用も見込んでいる

後も企業や学校と一緒に、SDGsの活動に取り組んでいきたい」と話す。

妻教授は「カルタづくりを通じて学生たちは地球の課題を認識できた。社会に出てからの行動にも役立ててほしい」と期待する。大長さんは「今後企業や学校と一緒に、SDGsの活動に取り組んでいきたい」と話す。

は、18人の学生メンバー全員でアイデアを出し合ったという。「(一)使わなくなった服を世界に届けます」「(二)負けない自分にごエスカーター・エレベーターは我慢」など、一つ一つをSDGsの目標達成に向けた行動などと関連付けられた。絵札はイラストレーターに依頼した。

SDGsを理解するためのキーワードなどを紹介した解説集も自分たちでつくった。印刷代などの資金集めにはインターネットのクラウドファンディングを活用した。カルタは解説集がセットで価格は4000円。学校の教材などとしての利用を見込んでおり、希望者は同大SDGs・生物多様性研究センターのホームページを経由して申し込む。

### キャンパス発 この一品

国連が掲げるSDGs(持続可能な開発目標)をより身近に感じてもらおうと、関西学院大学の学生らが「SDGsかるた」を作成し、今春から販売を始めた。17の目標にひも付いた分かりやすい読み札をつくるなど、子どもでも楽しく遊びながらSDGsを学べるように工夫している。

教育学部の湊秋作教授のゼミ生たちが大学の講師らの指導を受けながら、完成させた。メンバーの一人で4年生の大長源さんは「SDGsという言葉は知っていたが、当時どんな取り組みなのか理解していなかったと振り返る。

「あーから」まで全44枚の読み札の文言

# 大 学

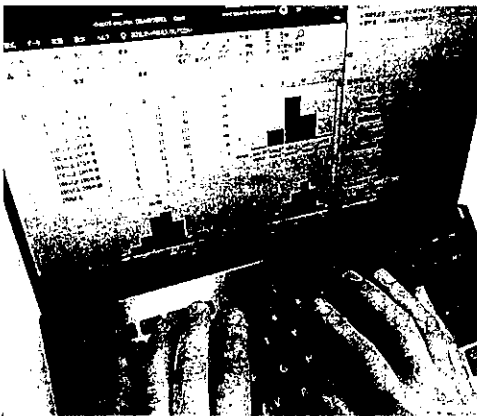
## 富山大数理・データサイエンス教育プログラム

富山大学はすべての学部生を対象にデータサイエンス教育を必修化する取り組みを今年度から始めた。1期生となる約1800人の入学生はまず基礎知識を学び、2年次以降は各学部の専門科目でデータサイエンスの要素を取り入れる。必修化は全国でも珍しく、地域課題の解決などデータを武器に幅広く活躍できる人材育成を目指す。

「新型コロナウイルスではさまざまなテーマが広がった。出典にあたるというデータサイエンスの基礎の重要性を裏付ける出来事だった」。栗本猛教授はトレイルペーパーの扱い占め騒動などを念頭に必修化の重要性を強調する。

今年度からの入学生が参加するのは「数理・データ

## UPDATE 知の現場



データサイエンスではオンライン授業も展開する

サイエンス教育プログラムの。終了後はプログラム修ム。1年次の「情報処了証を授与し、就職活動に理」に始まり、最終的にはも役立ててもらう。ビッグデータ解析など高度 入門編の情報処理では表な分析手法を専門分野の研究 ソフトの使い方といった活用できるようにす た基礎から教える。「高校

## 全学生に情報分析教育

6/17 日経

でも学ぶ内容だが、受験勉強が優先され、理解できていない学生も少なくない」（栗本教授）。すべての学生が講義についてこれるよう、統計学の学習で使う数式は最小限に抑える。1年次は経済や自然の分析にデータをどう使うかなどの活用方法まで習得する。

2年次からは各学部の専門教育で、データサイエンスの要素を取り入れた科目を用意する。工学部や理学部といった理系学部はもちろん、人文学部、人間発達科学部などの文系でも社会調査や心理学を中心にデータサイエンスの可能性を探る。具体的には心理に関するアンケート調査、古文書データのテキスト化・分析などを想定している。

学内で先行して必修化に動いていたのが2018年

度にも開設した都市デザイン学部だ。富山市と連携しながら、交通機関の利用者数の分析などで学習成果を発揮してきた。富山駅では3月に駅の南北で分断されていた路面電車の路線が接続されたばかりで、同学部の堀田裕弘教授は「今後はセンサーで吸い上げた人の流れのデータを講義の中で分析していきたい」。公共交通を軸とした街づくりにデータ面で貢献する。

富山県を含む北陸地方でも上場の生産情報から店舗での決済情報まで、さまざまな現場で大数のデータが蓄積されている。こうしたデータを生の数字のまま埋もれさせず、有効活用する必要がある。富山大の取り組みに北陸の官民から注目が集まる。

（伊地知将史）

### ダイジェスト

**九大など、抗体検査キット開発**  
九州大学発スタートアップのKAIICO（カイコ、福岡市）は九州大と共同で、新型コロナウイルスの抗体検査キットとワクチン候補となるたんぱく質の開発に成功した。ワクチンの元となる特定たんぱく質を薬に注入し、増殖させて精製する技術を活用した。製薬会社など協力企業と共同で量産体制の確立を目指す。このほど第三者割当増資で2.6億円を調達した。資金は医薬品開発のための設備投資に充てる。

**東北大、遺伝子システムを開放**  
東北大は新型コロナウイルスの治療法や診断法の開発を支援する。加齢医学研究所が開発した遺伝子構造解析システムを初めて無償で開放。新型コロナウイルス患者の血液などから遺伝子構造を解析し、抗体を特定する。効果的な治療法のほか、ワクチンの効果判定など精度の高い診断法の開発につなげてもらう。製薬会社や研究機関、病院などを対象に申し込みを受け付け、学内審査を経て2021年4月まで支援する方針だ。

**宇都宮大、新入生サポート制度**  
宇都宮大学は新型コロナウイルスの感染拡大の影響で孤立しがちな新入生をケアするため、上級生によるサポーター制度を全学で導入する。学科ごとに2〜4年生の有志を募り、後輩となる新入生と対話アプリのLINEなどでコミュニケーションをとってもらう。実施期間は9月末までで、コロナ禍で自宅での学習を余儀なくされている新入生を精神的にサポートしたい考えだ。

学ぶ 磨く 育つ